

# 人的基盤の強化について

自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に  
関する基本方針

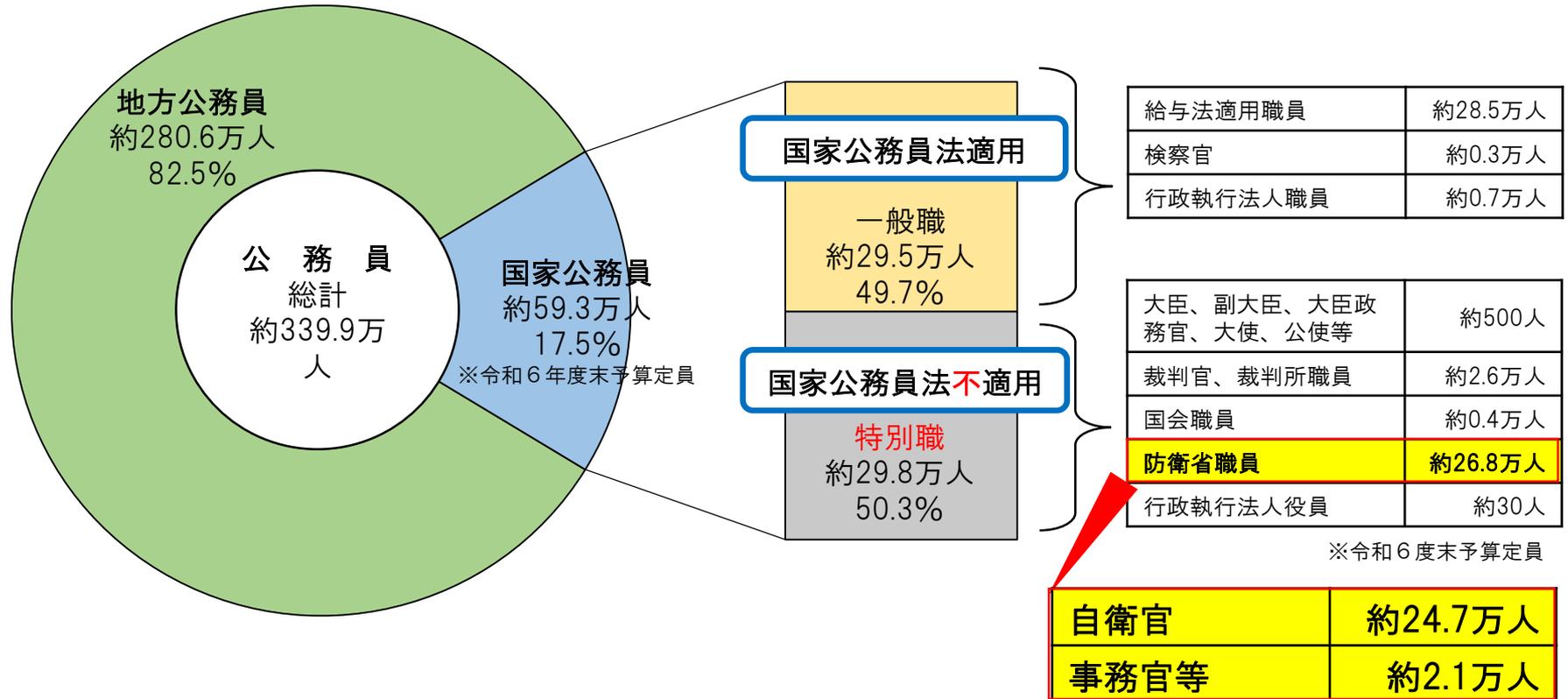
(令和6年12月20日関係閣僚会議決定)

2025年1月17日  
防 衛 省

# 特別職としての自衛官とその特殊性①

## 自衛隊員の位置づけ

防衛省職員の定員 ⇒ 国家公務員全体の約45% (自衛官 約42%)



職務の性質上、一般職とは別に独立して人事管理（自衛隊法及び防衛省の職員の給与等に関する法律等で、人事・給与等を規定）

出典：「国家公務員の数と種類」人事院資料

## 特別職としての自衛官とその特殊性②

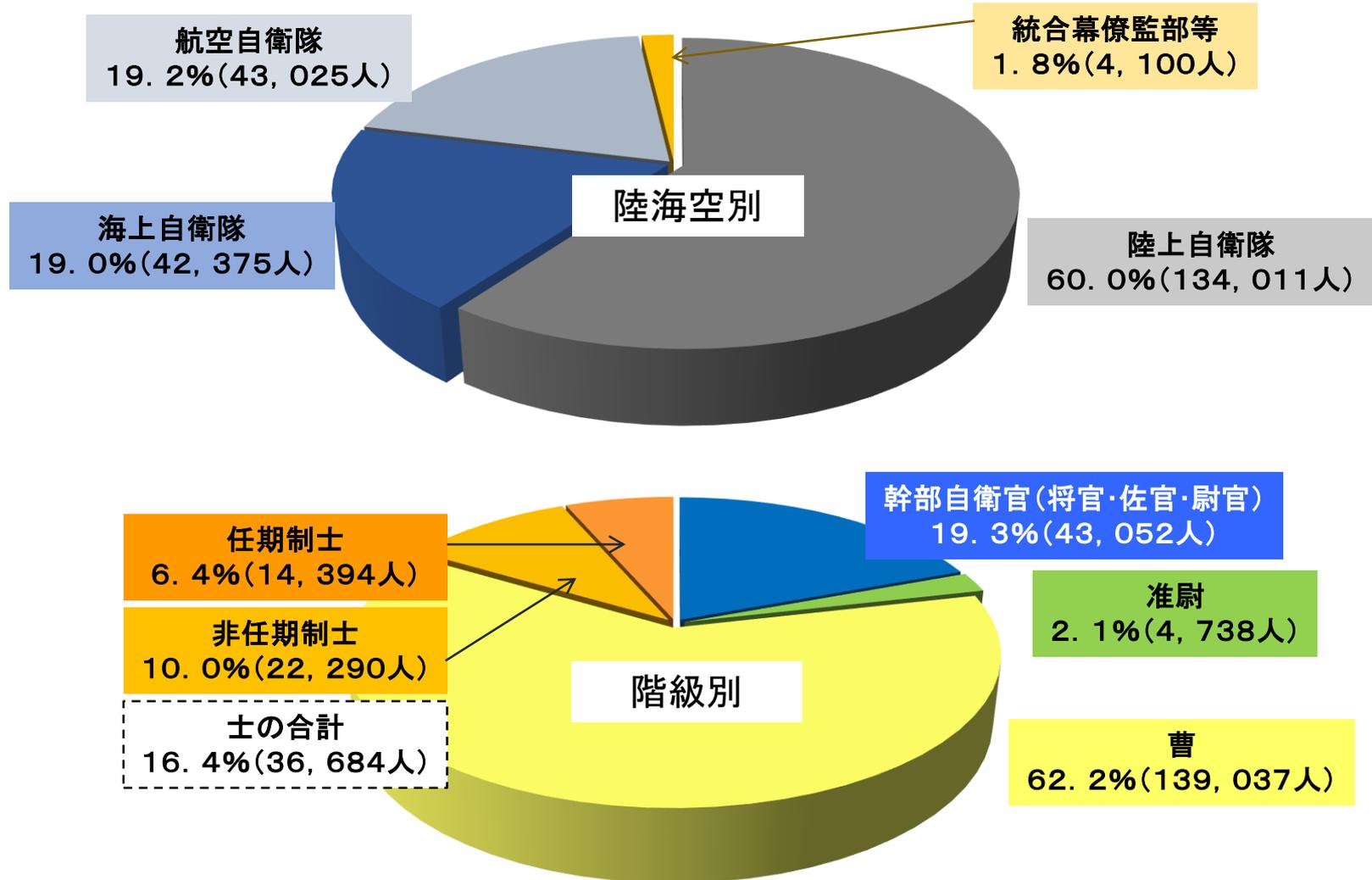
- 自衛官は、他の公務員と異なる様々な制約や負担が課されている
- ➔ 制約や負担に見合った扱いが必要

### 自衛官等に特有の要素

- ① **勤続年数の制約** → **生涯設計の難しさ**  
自衛官の定年年齢は、事務官等の定年年齢より若く、階級に応じ55歳～60歳
- ② **サービスの宣誓** → **リスクの負担**  
サービスの宣誓（※）を実施し、危険・困難な状況においても職務を遂行する責務  
※「（略）事に臨んでは危険を顧みず、身をもつて責務の完遂に務め、もつて国民の負託にこたえることを誓います」
- ③ **常時勤務体制** → **精神的・肉体的負担**  
有事即応のため、営舎(艦艇)内または部隊近傍への居住が義務づけられ、待機態勢を確保  
自衛隊法第54条 隊員は、何時でも職務に従事することのできる態勢にしなければならない。
- ④ **法律による退職の制限** → **自衛隊の任務遂行を優先**  
自衛隊法第40条 （略）隊員が退職することを申し出た場合において、これを承認することが自衛隊の任務の遂行に著しい支障を及ぼすと認めるときは、（略）その退職を承認しないことができる。
- ⑤ **離島・へき地を含め、引越を伴う転勤の多さ** → **本人のみならず家族への負担**  
50歳の幹部自衛官は11回程度、准曹は6回程度、異なる都道府県への転勤を経験

# 特別職としての自衛官とその特殊性③

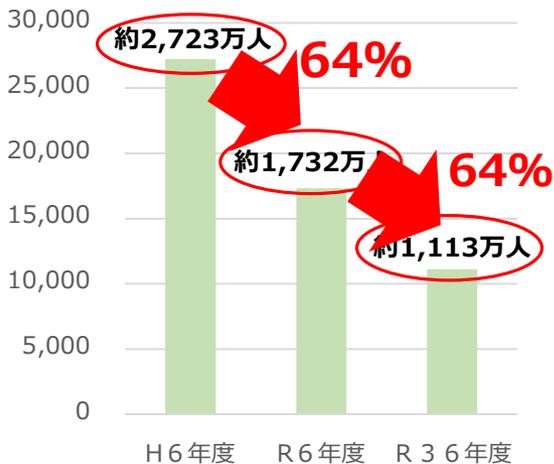
自衛官の現員は、約 22 万人（令和 5 年度末現在：223,511 人）



# 自衛官の応募者・採用者数等の推移

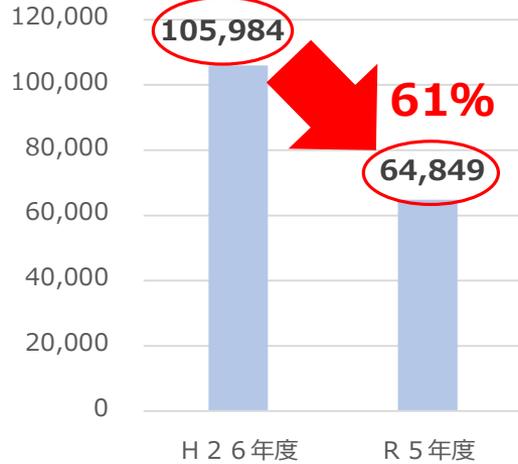
- 様々な施策を実施してきたものの、我が国の人口が減少する中で、自衛官の応募・採用者数は大幅に減少。特に、2土（自衛官候補生・一般曹候補生）の採用が極めて厳しく中途退職者も増加。
- 警察・消防も含め、公務員全体の募集環境が厳しくなる中、離島・へき地を含め、引越しを伴う転勤の多い自衛官の採用は更に厳しい状況。

### 募集対象者人口の推移 (18歳～32歳)



【出典】H6年度は総務省統計局「人口推計（年齢（各歳）、男女別人口（各年10月1日現在）総人口）、R6年度及びR36年度は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」による。

### 自衛官等の応募者数の推移



※ 複数の試験種目を併願又は複数回受験する者があるため延べ人数。

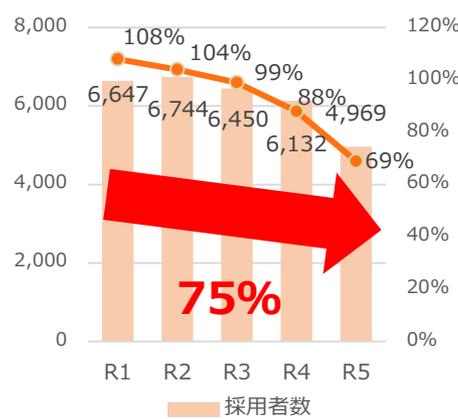
### 自衛官等の採用者数

	区分	計画数	採用人数	対計画比
R4年度	一般曹候補生	6,980	6,132	88%
	自衛官候補生	9,245	3,988	43%
	その他	1,621	1,638	101%
	<b>合計</b>	<b>17,846</b>	<b>11,758</b>	<b>66%</b>
R5年度	一般曹候補生	7,230	4,969	69%
	自衛官候補生	10,628	3,221	30%
	その他	1,740	1,769	102%
	<b>合計</b>	<b>19,598</b>	<b>9,959</b>	<b>51%</b>

### 自衛官候補生の採用状況



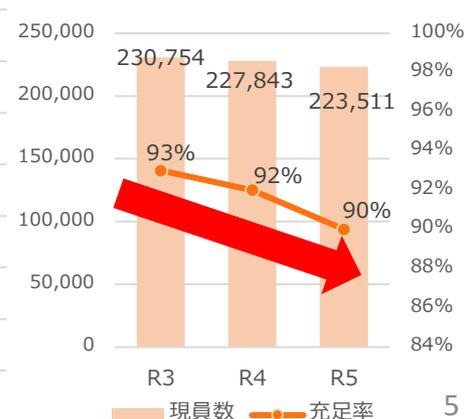
### 一般曹候補生の採用状況



### 自衛官の中途退職者数の推移



### 自衛官の充足率の推移



# 自衛官の人事・給与制度の概要と改善①

- ・ 自衛官の給与制度は、所管法律である防衛省の職員の給与等に関する法律を基本法とし、自衛官の任務の特殊性を考慮して独自に規定
- ・ 給与は、「俸給」「諸手当」「現物給与」「退職手当」で構成
- ・ **自衛官も公務員であるため、民間準拠を基本とする一般職の給与を参考にすることで信頼性・公正性を確保しつつ、自衛隊の任務の特殊性を考慮した独自の各種手当等を設定**

俸給		○常時勤務態勢等の任務の特殊性を踏まえ、超過勤務手当相当分を繰り入れた独自の俸給を支給	
		<p style="text-align: center;">自衛官俸給月額 (注)</p> <p style="text-align: center;">公安職俸給表 (一) の月額 警察官・皇宮護衛官・刑務官等に適用される俸給表</p> <p style="text-align: right;">超勤相当分 ← 約10%上乗せ</p>	
		○一般の国家公務員は職務に応じた俸給表が適用されるが、自衛官は階級に応じた俸給表を適用 ○俸給水準は、毎年的人事院勧告に準じた改定が基本	
諸手当	独自の手当	配置手当	○職務の複雑・困難性が高く、勤務条件が著しく特殊な配置に就く隊員に、俸給水準を調整する月例給として支給 (例) 特殊作戦隊員手当・乗組手当・航空手当 等 (次頁参照)
	独自の手当	特殊勤務手当	○著しく危険、困難な勤務に従事した場合に、その都度、日額等を支給 (例) 災害派遣等手当・対空警戒対処等手当・海上警備等手当 等 (次頁参照)
	一般職と同様の手当		○ボーナス (期末・勤勉手当)、扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当等
現物給与		○駐屯地内に居住する自衛官や災害派遣に従事する自衛官等に対し食事を無料支給 ○制服等を無料で支給又は貸与 ○自衛隊病院等において自己負担なく受診	
退職手当		○定年退職した場合、最大で俸給月額約4.7月分の額 + 在職期間中の階級に応じた調整額を支給 (一般職と同様) (※) 具体的な支給額の例: 1尉→約2,300万円、曹長→約2,000万円 ○任期制自衛官が任期満了で退職した場合には、特例の退職手当を支給	

(注)イメージ図は2佐以下の例であり、1佐及び将補(二)は行政職俸給表(一)をベース。なお、将及び将補(一)は、事務次官、局長等に適用される指定職俸給表と同額。その他一定の控除あり。

# 自衛官の人事・給与制度の概要と改善②

## 自衛官独自の手当

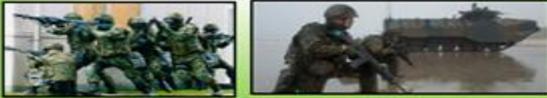
### 1. 配置手当

- 配置手当は、パイロットや艦船乗組員、特殊作戦等に従事する隊員等、職務の複雑・困難性が高く、勤務条件が他の官職に比して著しく特殊である官職について給与上評価するもの

#### 陸自 特殊作戦隊員手当

陸自特殊作戦群の隊員  
(階級初号俸×49.5%)  
【モデルケース】  
特殊作戦隊員手当(月額): 145,975円

陸自水陸機動団の隊員  
(階級初号俸×33%)  
【モデルケース】  
特殊作戦隊員手当(月額): 97,317円



#### 海自 乗組手当

護衛艦の乗組員(俸給月額×43%)  
【モデルケース】  
乗組手当(月額): 146,630円

潜水艦の乗組員(俸給月額×55.5%)  
【モデルケース】  
乗組手当(月額): 189,255円



#### 空自 航空手当

戦闘機操縦士  
(階級初号俸×80%)  
【モデルケース】  
航空手当(月額): 235,920円

輸送機等操縦士  
(階級初号俸×60%)  
【モデルケース】  
航空手当(月額): 176,940円



### 2. 特殊勤務手当

- 特殊勤務手当は、著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務で給与上特別な考慮を必要とし、かつ、その特殊性を俸給で考慮することが適当でないと認められるものに従事する職員に、勤務の特殊性に応じて支給される手当

No.	手当の名称	手当額
1	爆発物取扱作業等手当	日額 250円～10,400円 等
2	航空作業手当	日額 620円～5,100円
3	異常圧力内作業等手当	1時間当たり 210円～11,200円 日額 500円～2,100円 等
4	落下傘降下作業手当	1回当たり 850円～12,600円
5	駐留軍関係業務手当	日額 650円
6	南極手当	日額 1,800円～4,100円
7	夜間看護等手当	1回当たり 1,620円～6,800円
8	除雪手当	日額 300円又は450円
9	小笠原手当	日額 300円～5,510円
10	死体処理手当	日額 1,000円～3,200円
11	災害派遣等手当	日額 1,620円～42,000円 等

No.	手当の名称	手当額
12	対空警戒対等手当	日額 440円～1,100円
13	夜間特殊業務手当	1回当たり 410円～1,100円
14	航空管制手当	日額 340円～770円
15	国際緊急援助等手当	日額 1,400円～15,000円
16	海上警備等手当	日額 400円～7,700円
17	分べん取扱手当	1件当たり 10,000円
18	感染症看護等手当	日額 290円
19	救急救命処置手当	日額 1,000円又は2,000円
20	特殊過重勤務手当	日額 3,240円
21	レンジャー作業手当	日額 2,130円～4,260円

# 自衛官の定年年齢の変遷

	S29	S38	S45	S49	S54	S55	S56	S57	S58	S59	H2	H5	H6	H7	H8	R2	R3	R4	R5	R6
将	58歳										60歳									
将補	55歳									56歳	60歳									
1佐	53歳					54歳				55歳				56歳			57歳			58歳
2佐	50歳				51歳		52歳		53歳	54歳				55歳			56歳			57歳
3佐	50歳				51歳		52歳		53歳	54歳				55歳			56歳			57歳
1尉	48歳	50歳			51歳		52歳		53歳			54歳				55歳				56歳
2尉	45歳	50歳			51歳		52歳		53歳			54歳				55歳				56歳
3尉	45歳	50歳			51歳		52歳		53歳			54歳				55歳				56歳
准尉	—	—	50歳		51歳		52歳		53歳			54歳				55歳				56歳
曹長	—	—	—	—	—	51歳		52歳		53歳			54歳			55歳				56歳
1曹	45歳	50歳				51歳		52歳			53歳		54歳			55歳				56歳
2曹	40歳	45歳		50歳							53歳							54歳		55歳
3曹	40歳	43歳		50歳							53歳							54歳		55歳

# 若年定年退職者給付金制度

## ■ 制度の概要

項目	概 要
目的	若年定年制から生ずる不利益を補うことにより、未だ出費のかさむ時期に定年を迎える自衛官の退職後の不安を取り除き、士気が高く資質の優れた隊員による自衛隊を維持することを目的とする政策的給付（社会保障である年金、勤続報償である退職手当、年功的性格である恩給とは性格が異なる。）
支給対象者（原則）	自衛官として20年以上勤続し、定年退職した者
支給額	退職時俸給月額を基礎として算定する一時金 【60歳まで】 自衛官の若年定年年齢と60歳との差1年につき退職時俸給月額の6か月分を支給することを基本 ※ 退職後最初の4月又は10月に第1回目を支給し、退職翌年の所得を踏まえ退職の翌々年の8月に第2回目を支給 【60歳以降】 60歳と一般の国家公務員の定年年齢（定年引上げ後65歳）との差1年につき退職時俸給月額の3.45か月分を支給することを基本 ※ 60歳到達後最初の4月又は10月に第1回目を支給し、61歳の年の所得を踏まえ62歳の年の8月に第2回目を支給

## ■ 若年定年退職者給付金支給額の例

階級	退職時俸給月額	60歳まで		60歳以降	
		算定基礎期間	支給額/年	算定基礎期間	支給額/年
3佐	47万円	3年	280万円	5年	156万円
1尉	44万円	4年	264万円	5年	149万円
曹長	42万円	4年	250万円	5年	141万円

注1：退職時俸給月額は、令和5年度第1回目支給対象者の退職時平均俸給月額（令和4年9月調査）である。

注2：60歳までの算定基礎期間は、自衛官の若年定年年齢（令和6年10月1日時点）と60歳との差の年数であり、60歳以降の算定基礎期間は、60歳と定年引上げ後の一般の国家公務員の定年年齢である65歳との差の年数である。

注3：支給額は、所得による支給額の調整等がない場合である。

# 米軍人の退職後の給付について

- 米軍人の退職後の給付については、自衛官に支給されるような一括払いの退職手当ではなく、  
①確定給付と②確定拠出という制度が設けられている。
- この他、軍人も含め一般的な被用者に67歳から支給される社会保障給付制度（OASDI）が設けられている（月平均約1,900ドル/人（2024年））。

## ①確定給付

### 全額国庫負担

※勤続年数が原則20年以上の者(2022年度退職者の約2割が受給)

以下の算定式で計算した金額が退職後から生涯にわたり毎月支給

$$2.5\% \quad \times \quad \text{勤続年数} \quad \times \quad \text{基準額（現役時の最も高い36月分の基本給の平均額）}$$

(※1) 近年の受給対象者の平均勤続年数は約23年

(※2) 2018年1月以降の入隊者については、乗数は2.0%

## ②確定拠出

### 労使双方負担

※2018年1月以降の入隊者が対象

- 税制優遇のある貯蓄投資プランで、入隊後自動的に加入
- 拠出割合は、毎月の基本給に対し労使合算で最高10%
- 運用益を含む拠出金は退役時に引き出し可能（受け取り方法は一時金、分割等の選択可。原則として59.5歳以降で満額受給）

### 【例】

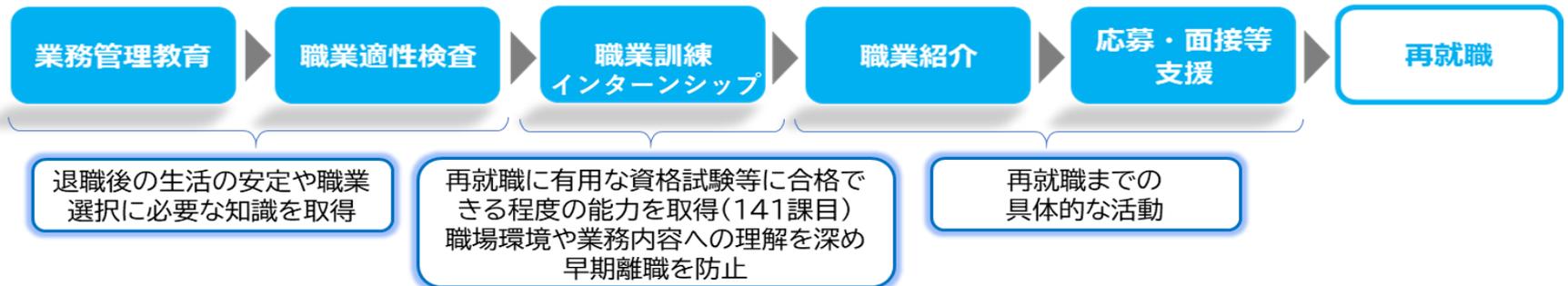
基本給2,000ドル・拠出割合10%・拠出期間10年⇒25年後の受取額約20万ドル（利回り約7%と仮定）

⇒上記のとおり、退職する米軍人の全員が退職時の給料相当の給付が確約されているものではない。

# 定年退職自衛官に対する再就職支援の取組

●退職後の生活の安定や職業選択に必要な知識を取得させるとともに、再就職に有用な資格の取得に必要な能力や技能の習得につながるよう職業訓練を実施するなどの再就職支援を行っている。

## ■若年定年制自衛官に対する再就職支援（退職3年前より実施）



【参考】求人数（R5実績）自衛隊援護協会  
：約28,000件（援護希望者1人当たり9件）  
令和6年度予算額：約3.6億円（歳出ベース）

## 再就職支援施策として行っている主な職業訓練（令和5年度実績）

区分	訓練課目
自動車運転	●大型自動車 ●普通自動車 ●大型特殊自動車 ●准中型自動車 ●中型自動車
施設機械等運転	●フォークリフト・ショベルローダー ●ボイラー技士 ●車両系建設機械 ●クレーン運転士
電気通信技術	●電気工事士 ●電気主任技術者 ●電気通信設備工事担当者 ●2級海上特殊無線技士
危険物等取扱	●危険物取扱者 ●第3種冷凍機械責任者 ●高圧ガス製造保安責任者
労務等実務	●ドローン操縦士 ●警備員検定 ●運行管理者 ●海技士（3～6級） ●メンタルヘルス・マネジメント ●キャリアコンサルタント
情報処理技術	●マイクロソフトオフィススペシャリスト ●パソコン基礎検定 ●OA機器 ●ITパスポート ●基本・応用情報技術者
社会福祉関連	●介護職員初任者研修 ●介護事務 ●介護福祉士 ●サービス介助士
医療事務関連	●医療事務 ●調剤薬局事務 ●登録販売者
法務等実務	●宅地建物取引士 ●行政書士 ●秘書検定 ●認定コーチ
その他	●防災・危機管理教育 ●ファイナンシャルプランナー ●溶接技能者（ガス・アーク溶接など） ●公務員受験対策講座 ●消防設備士 ●簿記 ●衛生管理者 ●マンション管理士 ●TOEIC ●防火管理者

注）各区分ごとの職業訓練課目名は受講者の多い順で記載

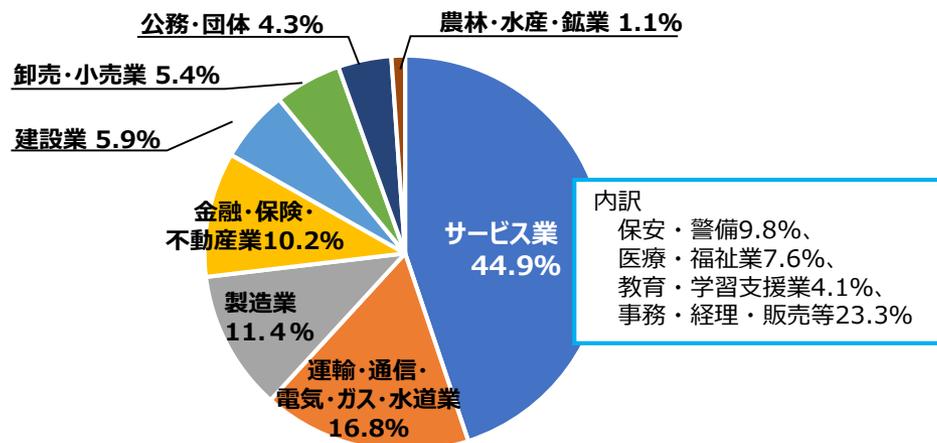
# 定年退職自衛官の再就職の状況

- 防衛省による再就職支援により、ほぼ全員の再就職先が決まっている一方、1年以内の離職率は約17%
  - 退職前の業務管理教育など再就職に向けた様々な取組みを行っているものの、定着に課題
  - 各種業界ではスキルを持つ人材が不足しているところ、自衛官が自衛隊で培った知識、技能、経験を活かせる仕事に就くことで、貴重なスキルを持つ人材の循環につながる。
- ➔ 退職自衛官が年金支給開始年齢である65歳まで安んじて生活できるよう、また、自衛隊において培われた知識・経験を最大限活用できるよう、再就職先の拡大、ミスマッチの回避、処遇向上、再々就職支援が必要

## 1. 再就職の状況

再就職実績 (令和元年～令和5年度平均)

退職者数	4,272人
再就職支援希望者数	3,168人
就職決定者数	3,125人
就職決定率	98.5%



## 2. 離職の状況

再就職者の離職率 (令和5年度※)

再就職後1年以内に離職 **約17%**

離職理由：労働時間・残業・休日等  
仕事の内容 など

※令和5年度退職自衛官の再就職状況等アンケート結果報告（陸上自衛隊）より  
対象者：令和4年度陸上自衛隊若年定年制退職自衛官うち、就職援助施策対象者2,848名  
実施期間：令和6年1月8日～令和6年1月31日

## 3. 再就職先の一例

約8割※が再就職先(仕事の内容)に満足であるものの、再就職先の職務内容に着目すれば、自衛隊において培われた知識・技能・経験が必ずしも活かしていない者も見受けられる。

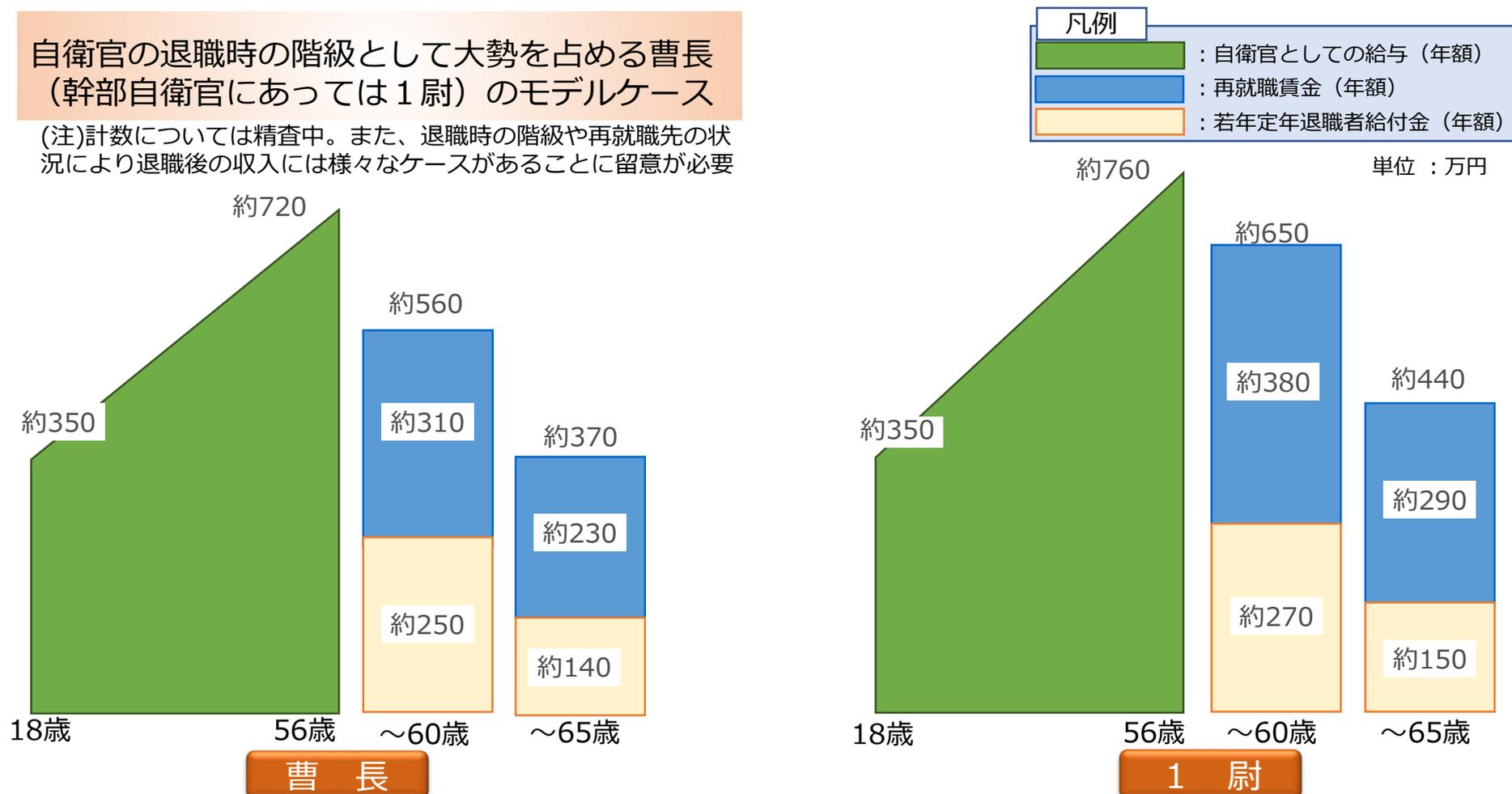
自衛隊で培った知識・技能・経験	退職時階級	再就職先業種	職務内容
教官	2佐	製造業	一般事務職
通信	1曹	販売・小売業	配送ドライバー
航空機整備	准尉	医療業	一般事務職
航空操縦士	2佐	金融業	営業職
艦艇職域(艦長)	1佐	保険業	一般事務職
艦艇職域(一般)	曹長	建設業	土木作業従事者

# 自衛官の年収のイメージ

- 若年定年制における将来不安に対しては、若年定年退職者給付金を政策的に給付している。
- 一般に、56歳という若い年齢で定年退職するにもかかわらず、自衛官のその後の収入は現役時代に比べて低い中、自衛官としての知識・技能・経験を活かした職種への円滑な再就職による、安んじて生活できる収入の確保などを通じ、自衛官の将来不安の払しょくに取り組む必要。

## 自衛官の退職時の階級として大勢を占める曹長（幹部自衛官にあっては1尉）のモデルケース

(注)計数については精査中。また、退職時の階級や再就職先の状況により退職後の収入には様々なケースがあることに留意が必要



※若年定年退職者給付金（～60歳）は、原則として、1年につき退職時の俸給月額6か月分が支給される。61歳以降分の若年定年退職者給付金は、一般の国家公務員の定年引上げを踏まえて令和5年度から支給を開始しており、原則として、1年につき退職時の俸給月額3.45か月分が支給される。

## 石破総理大臣の発言（R6.12.20 第4回関係閣僚会議）

- 自衛官の充足が約9割にとどまっております。これは極めて深刻な課題であるという認識を持っております。**自衛官の確保は、ただ防衛省・自衛隊のみならず、政府をあげて取り組まねばならない至上命題**という認識の下にこのような会議を開催しました。
- 10月9日にこの会議を設置し、高い頻度で議論を重ねていただいた結果、短期間で、具体的な方策をとりまとめていただきました。
- 今後、中谷大臣をはじめ、各大臣のリーダーシップの下、**盛り込まれた施策の実現に向けて、基本方針の内容を令和7年度予算案に反映していただきたい**と思います。合わせまして、**法律・制度改正が必要なものについても速やかに検討いただき、可能なものは次期通常国会に提出**するようお願いいたします。
- 各施策の実効性を確保し、充足率が向上しなければ意味がございませんので、今後ともこの閣僚会議の場で、この取りまとめ、そしてそれに伴って行われます予算、施策の**効果の検証を実施し、施策の深化に向けた検討を継続してまいりたい**。

# 自衛官の生涯収入の向上（イメージ）

※下線は7年度予算案に反映する項目

## 入隊時の処遇改善

① 不慣れな営舎内生活等に対する給付金（指定場所生活調整金（仮称））の新設  
（採用後6年間で120万円）

② 自衛官任用一時金の引上げ  
（22万1千円→34.4万円）

③ 新たな任期制士の創設  
（自衛官候補生として採用していた任期制士について、当初から自衛官として採用することで処遇を改善（R7年度募集開始、R8年度採用））

【参考】初任給月額（※）

・自衛官候補生：179,000円

↓  
・新たな任期制士：224,600円  
（一般曹候補生と同等）

※今国会提出法案（給与法）成立後の  
俸給月額等の額

## 現役時代の処遇改善

① R10年度に自衛官の俸給表改定  
（速やかに部外の専門家による検討に着手）

### ② 手当の拡充

- ・航空管制官に支給する手当、航空機整備員に支給する手当、野外での訓練等に従事する隊員に支給する手当の新設
- ・航空手当、災害派遣等手当の引上げ
- ・特殊作戦隊員手当等の支給範囲の拡大（陸海空自衛隊のサイバー専門部隊等）等

## 定年の延長

- ・令和10年度以降、一般隊員の定年を2歳程度引上げること念頭に検討
- ・60歳定年について、宇宙、サイバー、医療関係などの分野のうち体力依存度が低いと認められるものにも拡大することについて検討

## 知識・技能・経験を活かした再就職先の拡充

- ・防衛省・関係省庁の連携による幅広い業界・経済団体等への働きかけ強化
- ・公的資格取得プロセスの簡素化等の促進
- ・公的部門での退職自衛官の積極的な活用推進
- ・65歳までの就職援護 等

再就職先拡充等を図りつつ、若年定年退職者給付金の給付水準の引上げを検討



2士で入隊し曹長で退職する者の現行収入のモデルケース

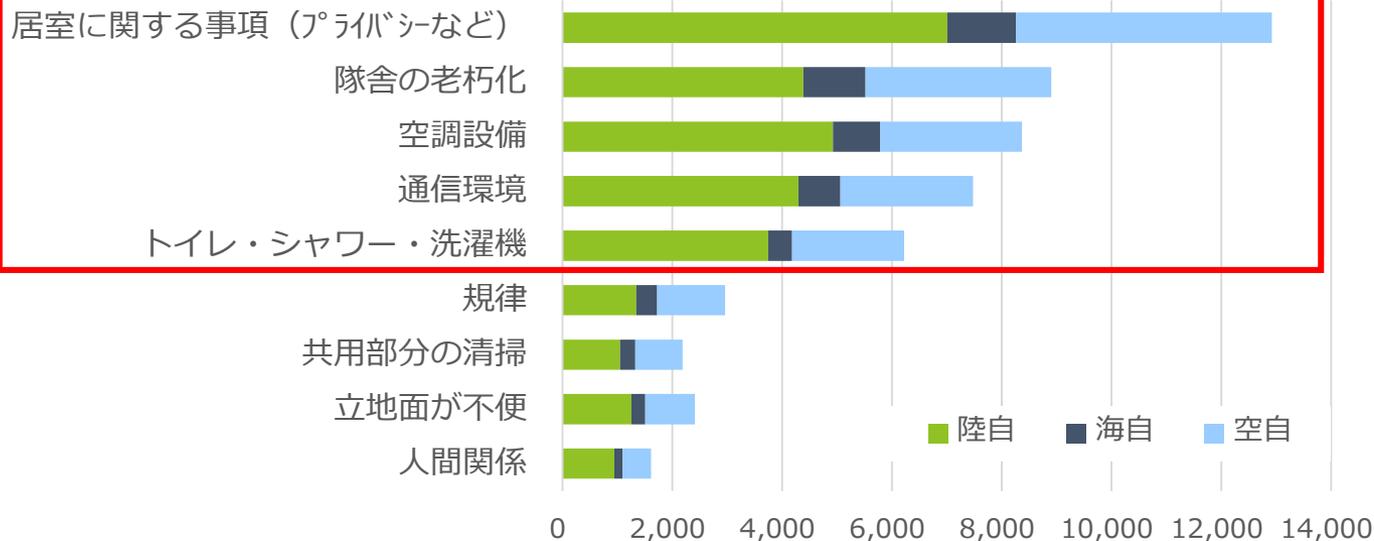
# 生活・勤務環境の改善 – 営舎内居室の個室化/通信環境整備

## 1 現状（問題認識）

- 令和5年度に営舎内居住者を対象に実施したアンケートにおいては、多くの隊員がプライバシーの確保や通信環境の改善を希望

アンケート結果（営内における不満）

単位：人



既存隊舎（複数人部屋）



## 2 今後の取組

- 営舎内隊舎の個室化  
私生活との両立の観点から、営舎内居室の個室化をスピード感をもって計画的に進め、早期完了。営舎外に居住できる者の範囲の見直し



(イメージ)

- 通信環境  
【駐屯地・基地等】  
厚生棟及び生活隊舎の共用区画等における無線LAN環境の拡充  
【艦艇部隊】  
令和9年度までに主要艦艇において、商用低軌道衛星通信網を活用し、インターネットの閲覧等を可能とする通信環境を構築

# 処遇改善等に関する広報・情報発信①

- 12月20日の第四回閣僚会議直後、スライドも活用し、大臣臨時記者会見を実施。その様子はウェビナー風に編集して、防衛省公式X・YouTubeにて発信。

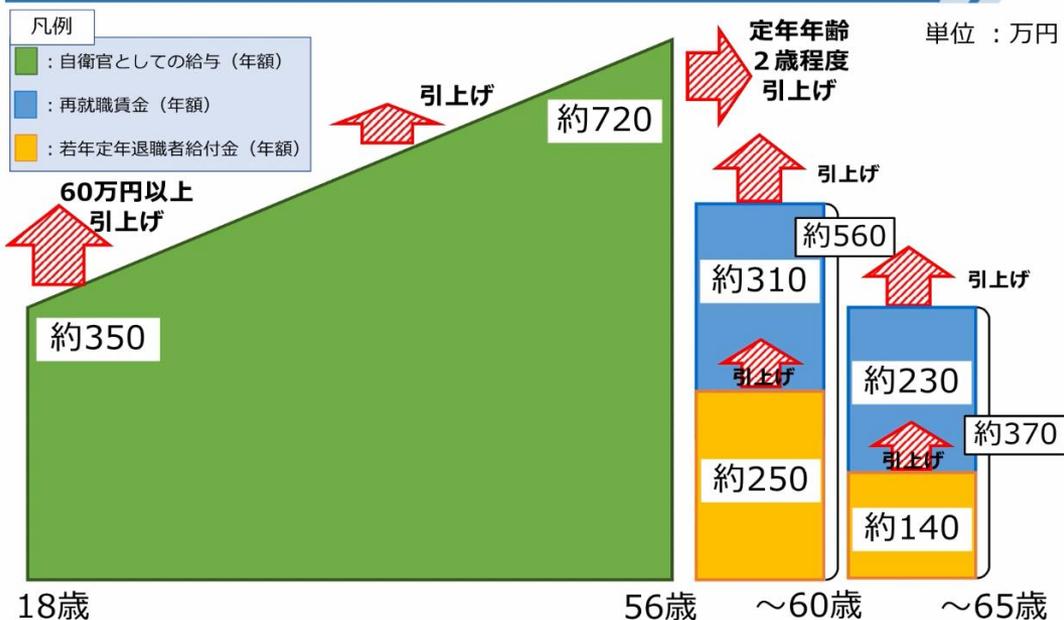
## 自衛官の処遇改善等に関する基本方針について



防衛大臣 中谷 元

## 自衛官の生涯収入の向上（イメージ）

①



2士で入隊し曹長で退職する者の現行収入のモデルケース

# 処遇改善等に関する広報・情報発信②

2 基本方針発表前日の12月19日から、防衛省公式Xにて、「1枚でわかる自衛官の魅力」シリーズを発信。他ポストと比較してもインプレッション数上位を独占。

発信日	12月19日	12月20日	12月20日	12月23日	12月24日
X 発 信	<p>【👉#1枚でわかる自衛官の魅力👉】 みなさん自衛官ってどういう職業かご存じでしょうか？ 自衛官という職業の魅力についてシリーズで発信していきます👉 👉詳しくはコチラ👉 <a href="https://t.co/rWoA6zoJhO">https://t.co/rWoA6zoJhO</a> #就活 #公務員 @JSDF_recruit (2024-12-19)</p>	<p>【👉#1枚でわかる自衛官の魅力👉】 自衛官の処遇を改善するため、政府全体で全力を挙げて取り組んでいます👉 現在募集を受けている採用区分もあります。  更なる情報はホームページをご確認ください👉 (2024-12-20)</p>	<p>【👉#1枚でわかる自衛官の魅力👉】 政府全体で自衛官の処遇を改善に取り組んでいます👉 今回は、自衛官候補生（任期制自衛官）の処遇例をご紹介します!!  詳しくはHPをご確認ください👉 (2024-12-20)</p>	<p>【👉#1枚でわかる自衛官の魅力👉】 任期制自衛官が終わったあとのキャリアパスとして、民間企業への就職支援や進学支援などのキャリアサポートが受けられます!! 詳しくはHPをご確認ください👉 <a href="https://t.co/LIJWce6zik">https://t.co/LIJWce6zik</a> (2024-12-23)</p>	<p>【👉#1枚でわかる自衛官の魅力👉】 まずはお近くの地方協力本部までお気軽にご相談ください! YouTubeチャンネルでも経験者の声など様々な情報を発信しています! 詳しくはHPをご確認ください👉 <a href="https://t.co/rWoA6zoJhO">https://t.co/rWoA6zoJhO</a> (2024-12-24)</p>
インプレッション数	517,741	492,531	510,956	614,756	343,983



## 自衛官ってどういう職業なんですか？



自衛官は国家を守る、

**特別職の国家公務員**です。

### 自衛隊の3つの主なミッション

主たる任務

# 1

## 国の防衛

領土を守る  
領海を守る  
領空を守る



従たる任務

# 2

## 災害派遣

人命を救い、  
支援によって生活を取り戻す



# 3

## 国際平和 協力活動等

平和を維持するために行う  
国際社会への貢献



自衛隊は、国の平和と独立を守るという使命の下、領土・領海・領空を守る活動、災害時の捜索・救助、医療等の対応、海外での国際平和協力活動など、様々なフィールドで活躍しています。

応募はコチラ





## 自衛官に興味があるんだけど いろいろ不安があります



本日、省庁横断の関係閣僚会議にて、

### 自衛官の処遇改善等の基本方針

が取りまとめられました。

今後も、**政府全体で全力を挙げて取り組んでいきます。**



自衛隊では、多様な採用区分を設けており、

### それぞれが成長・活躍できる場があります。

たとえば・・・

#### 自衛官候補生 (任期制自衛官)

任期満了後は、

・勤務継続

・民間企業への就職または大学への進学など

**進路を自由に選択**できる



1年中  
募集中

#### 一般曹候補生

2025年  
1月9日  
応募〆切

原則、**終身雇用**の

現場で活躍する「スペシャリスト」



WEBでの申し込みも可能です！

こちらをご確認ください！→

応募はコチラ





## 自衛官の給料は安いと聞きました…



いえ、そんなことはありません！他の一般的な公務員と同等以上です。  
更に、今後も政府全体で、

**自衛官の処遇を改善していきます！**

### 自衛官候補生が任官した場合の例



2 任期（5年）で  
**退職した場合**

給与総額（海上自衛官）

約

**3,092**万円



**継続任用した場合**

生涯収入（海上自衛官）

約

**3.3**億円

バラエティ豊かなバランスの良い食事  
自衛隊病院等での治療入院は無料

衣・食・住・医療 **全て提供**

（参考）年間の衣食住に係る費用：約111万円  
年間の保険医療に係る費用：約 6万円

手当など

- ・各種手当（扶養手当・地域手当など）
- ・自衛官任用一時金
- ・特例退職手当

様々な手当等があります。



自衛官候補生の処遇や給料に関する  
情報は、2次元コードからチェック！

詳しくはこちら



※こちらで掲載されている内容の一部は、令和7年度予算案に基づき作成しています。



## 任期制自衛官が終わった後のキャリアパスは？



自衛官として勤務継続しない選択をした場合でも、  
**資格の取得、民間企業への再就職、  
大学進学等のキャリアアップ**もできます。

### 資格取得・就職支援



資格の取得（ドローン操縦士）



資格の取得（ネイリスト）



キャリアカウンセリング



自衛官向け就職セミナー

1人あたり

**約40件**の求人

再就職率

**99.6%**

多種多様な資格取得・就職支援メニューと  
再就職先を確保！

※再就職支援希望者ベース  
令和5年度実績

### 大学への進学支援

任期満了により退職予定の任期制自衛官に対して  
**進学支援制度**や  
**「任期制自衛官退職時  
進学支援給付金」制度**があります。

【任期制自衛官退職時進学支援給付金】

**年額 535,800 円**

(即応予備自衛官に任用された場合の上限額)

**年額 356,000 円**

(予備自衛官に任用された場合の上限額)



民間企業への就職支援  
の詳細についてはコチラ→



大学への進学支援  
の詳細についてはコチラ→





## もっと自衛官について知りたいです！



**お近くの地方協力本部までお気軽に  
ご相談ください！**

その他、経験者の声や詳細情報など、  
様々な情報をHP等に掲載中です。  
是非ご覧ください！！

### 情報一覧

お近くの  
地方協力本部を検索！

地方協力本部一覧



<https://www.mod.go.jp/gsdf/station/pc0/index.html>

色々な情報が  
掲載されています！

自衛官募集HP



<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>

動画でもっと  
詳しくわかりやすく！

自衛官募集  
YouTubeチャンネル



<https://www.youtube.com/channel/UCwvH00eFWmfs-FGkRCorzdA>

応募も受験も  
スマホでできます！

応募・受験サイト



<https://www.jieikanbosyu-mod.go.jp/TopInitAction.do>

# 処遇改善等に関する広報・情報発信③

3 12月21日に、防衛省広報アドバイザーとして活躍頂いている青木源太さん（フリーアナウンサー）のX（フォロワー数約30万人）にて、基本方針がとりまとめられたことをアピール。今後、自衛隊部隊を訪問し、個室化等の生活・勤務環境の改善についても発信いただく予定。



4 12月21日より、求職（転職）者を主対象に、YouTube動画の冒頭6秒に表示される広告の配信を開始し、基本方針による年収増等をアピール。2万回以上の視聴数を達成（※1月6日時点）。今後、現在制作中の新規動画の配信も予定。



5 12月24日より、求職（転職）者を主対象に、ハローワーク周辺等にジオターゲティング広告を配信し、開始1週間時点で60万回以上の閲覧数を達成。今後、AIを活用することで関心の高い層への配信の比重を強化するとともに、プロクリエイター制作のバナーデザインの配信を予定。



6 地方協力本部の隊員のみならず、部隊に所属する隊員が年末年始の帰省等も活用し、募集広報を行っている。

**陸自自衛官候補生 から実現する夢**

1年中スマホで受験可能です。再就職または進学

採用：自衛官候補生教育 3か月間 | 1[1任期目] 1年9か月間 | 2[2任期目] 2年間 | 継続任用

任意一時金約34万円 | 指定場所生活訓練費 6年間で最大120万円

陸上自衛官として2任期(4年)で退職した場合給与の総額は 特別退職手当 約73万円(1任期目2年) 約117万円(2任期目2年)

約1,932万円

希望者の再就職率99%以上 | 大学進学時年間最大53.6万円支給 | 生理収入は約2.8億円

お金を貯めて退職後は起業しよう!

退職後は民間企業で働いてみたい!

大学の奨学金を返済したい!

任期満了したら進学したい!

**プラス!!**

バラエティー豊かなバランスの良い食事 | 自衛隊病院等での治療・入館は無料 | トレーニング施設もあるよ

**衣・食・住・医療全て提供**

(参考) 年間の衣食住に係る費用: 約11万円 (参考) 年間の保険料等に係る費用: 約6万円

本誌に記載されている各値については、一部、令和7年度予算案に基づき制作しております。

7 12月26日、防衛大学校において、任官を間近に控える第4学年の学生(約350名)、聴講を希望する他学年の学生、学校長以下の学校職員を対象に、人事教育局人材育成課長が「自衛官の処遇改善に向けた政府の取組」と題し講演を実施。学生からは、日頃感じている疑問点を含めて活発に質問があった。

## 自衛官の処遇改善に向けた政府の取組



- ### 2 生活・勤務環境の改善
- やりがいと働きやすさの双方を向上
  - 自衛官一人ひとりが働きがいを感じられる環境構築
  - 若い世代のライフスタイルに合った生活・勤務環境
  - 自衛隊の組織文化そのものについても改革



### 2 生活・勤務環境の改善

- 【生活環境の改善】
- ① 宿舍環境の改善
- 老朽化対策、建て替えの推進、住宅設備の充実、生活の利便性と即応性との調和



# 処遇改善等に関する広報・情報発信⑤（陸上自衛隊）

## 1 12月20日、**臨時地方協力本部長VTCを実施**

陸上幕僚長から各地方協力本部長等※に対し、今般の処遇改善の取り組みの意義、これを活用した採用活動の強化について徹底

※ 地方協力本部長、方面総監部人事部長に加え陸上総隊及び大臣直轄部隊の人事担当者



臨時地方協力本部長VTC(陸幕長訓示)

## 2 12月20日、自衛官募集HPのトップページに重要なお知らせとして、各種フライヤーを掲載するとともに、12月24日より、トップページスライダーに処遇改善の取組みを掲載

※ 1月8日現在までのページビュー約1万回



## 3 12月20日以降、各地本は処遇改善について部内で教育し広報を開始するとともに、自隊のSNS等による発信を実施

東京地方協力本部の動画発信はX及びInstagramあわせて10万回以上の視聴を獲得



インスタ



宮城地方協力本部X

## 4 12月20日、陸上自衛隊の生活勤務環境の改善の取組みについて伝える陸上自衛隊オフィスツアー動画を発信 (合計約1万回の視聴)



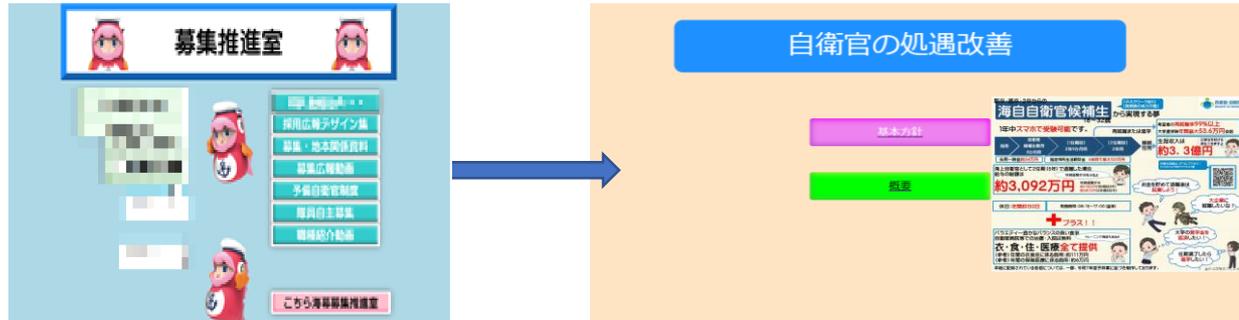
# 処遇改善等に関する広報・情報発信⑥（海上自衛隊）

## 1 12月23日、**臨時人事業務調整VTCを実施**

人事計画課から各部隊人事担当者等※ に対し、処遇や勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する基本方針等について情報を共有

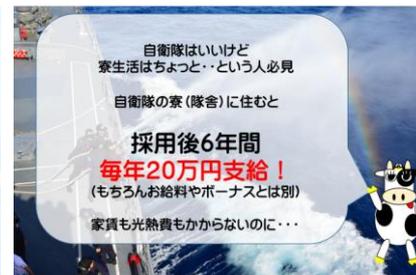
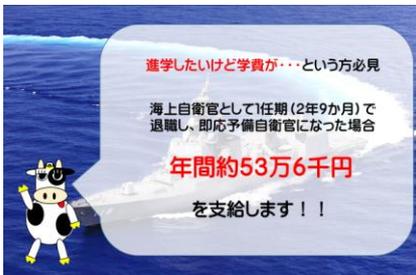
※ 自衛艦隊隷下部隊、各地方総監部、教育航空集団、補給本部の人事担当者

## 2 部内ネットワークにおいて、第4回関係閣僚会議資料を掲載し、自衛官の処遇改善について海自全般に周知



## 3 採用広報Xにおいて、自衛官の処遇改善について部外発信。

※1月9日現在までのページビューは約3千回。



# 処遇改善等に関する広報・情報発信⑦（航空自衛隊）

## 1 12月23日、**臨時VTC**を実施

航空幕僚長が訓示※<sup>1</sup>したのち、人事教育計画課から主要司令部等の人事担当者※<sup>2</sup>に対し、基本方針の概要、地本広報官による募集広報活動の概要（フライヤーの説明）、航空自衛隊冬季採用広報キャンペーン※<sup>3</sup>を説明

### ※1 航空幕僚長訓示

基本方針の3本柱について触れた上で、未曾有の人的危機に対応するため「Everybody is recruiter」の意識で募集に臨むとともに、基本方針の内容について現場レベルでも理解を深め、隷下部隊への周知を指示

※2 大臣直轄部隊、各航空方面隊司令部及び各機関の人事担当部長等の人事担当者

※3 ・年末年始休暇期間を活用した、隊員自主募集活動や帰郷広報活動の強化

・航空自衛隊の仕事に対する理解を深め、興味関心と志願意欲を高める観点から、“航空自衛隊の人材や仕事、職場環境等”に重点を置き、空幕と各基地・部隊との連携による情報発信を強化 等

2 年内に各部隊で、資料回覧、隊内教育等を実施。休暇等で年末に説明を受けられなかった隊員に対しても年明け以降、各種会議・教育等の機会を活用して引き続き周知

3 第4回関係閣僚会議資料について、部内HPへ掲載し空自全隊員が閲覧できる環境を構築

